

編集室

* なかなか終息が見えないコロナウイルスの感染拡大ですが、この1年でビデオ会議やオンライン授業の活用、クラウドサービスを活用した資料作成、電子マネー決済などデジタル技術を駆使した社会変革が進みつつあると思います。筆者が所属する東京大学では、教員や学生の有志らによって接触通知アプリ「MOCHA」が開発されました。濃厚接触者の特定に活用するだけでなく、講義室など大学構内の混雑状況の閲覧、講義参加予約などにも活用され、密を避けることにも役立っています。このようなコロナウイルスに打ちかつためのデジタル技術は今後ますます重要になると言えます。本号では、デジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるIT技術の最新動向やアフターコロナに必要なAI技術などの解説記事を掲載致しました。アフターコロナあるいはウィズコロナ社会におけるデジタル技

術の有りようを会員の皆様が考える一助になれば幸いです。

* また、これからの時代は一層、高速なモバイル通信が重要になります。筆者自身も、外出時に携帯電話の回線を通じてビデオ会議に出ることがこの1年でとても増えました。5G携帯が普及するに従って、通信速度や通信容量を余り気にせずビデオ会議ができるのは大変便利なものです。本号では移動体通信におけるセル構成に関する解説記事も取り上げました。また、高周波測定やスミスチャートの使い方を解説する記事も掲載しております。モバイル通信でも重要となるRF技術について基礎を学びたい会員の方に御一読頂ければ幸いです。

（編集特別幹事 竹中 充）

8月号小特集予定目次

「コンピュータを用いた学習支援技術——大学教育現場へのICT技術の活用——」

小特集編集にあたって.....編集チームリーダー 川田亮一

【総論】

1. 新型コロナウイルス禍が可視化したオンライン講義の限界と可能性.....鈴木栄幸
2. 開発者側の視点——コンピュータを用いた学習支援環境の整備——
 - 2-1 LMS 20年の歴史と展望——京都大学でのフルオンライン授業対応を踏まえて——.....梶田将司
 - 2-2 学習支援サービスの運用とオンデマンド型を中心としたオンライン授業への展開——名古屋大学における事例——.....戸田智基 大平茂輝 後藤明史 出口大輔 森 健策
 - 2-3 学習者主体型教育を実現する学習分析基盤.....島田敬士
 - 2-4 仮想化技術を用いたネットワーク演習環境.....立岩佑一郎 井口信和
3. 利用者側の視点——コンピュータを用いた学習支援技術の活用——
 - 3-1 ICT技術を活用した学習環境デザイン.....山内祐平
 - 3-2 教育環境におけるデータを活用した学習コミュニティ分析手法.....多川孝央
 - 3-3 有意味学習を支援するための知識構造可視化システム.....王 静芸 妻鳥貴彦

【制度設計者側の視点】

4. 授業目的公衆送信補償金制度——概要と今後の展開——.....竹内比呂也